

SSKW

Hataraku(work)
 Kurasu(live)
 Sasaeru(support)
 That is to say
 Kobushi Network

We are social workers!

グッとくるよ

こぶしだよ



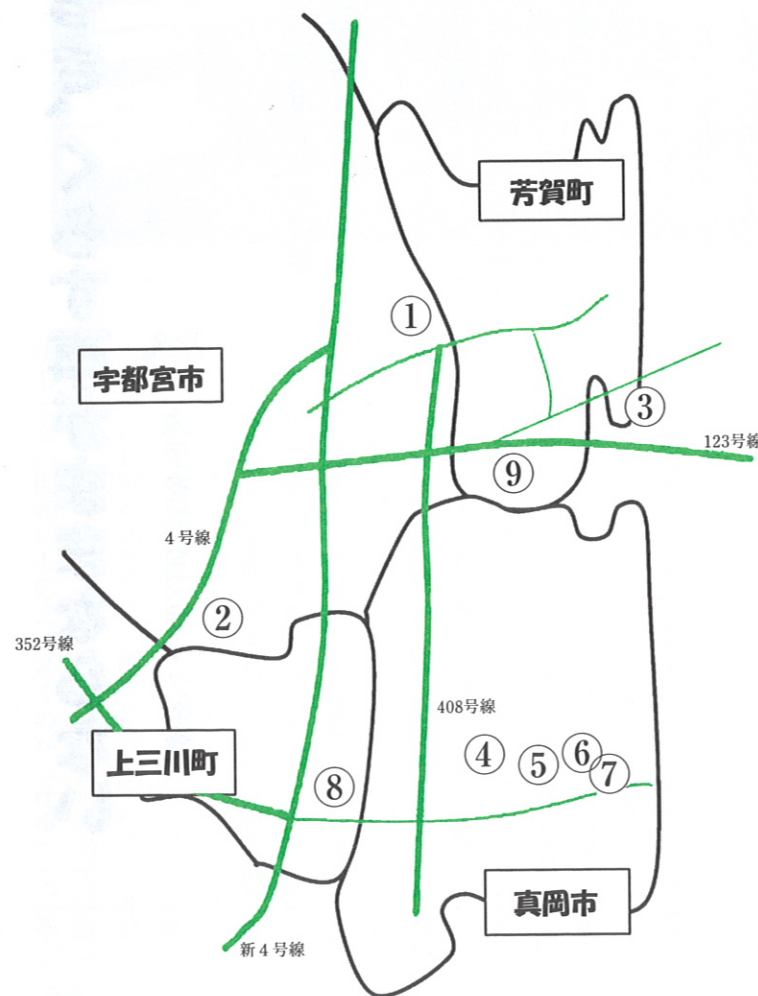
社会福祉法人こぶしの会 平成24年度決算報告

- ・一般就労者の現在
- ・ギャラリーこぶし
- ・きみはぼくのトモダチ
- ・こぶしづかん
- ・社会モデルを地域文化に(連載)

チャレンジセンターチームは健闘及ばず
 4位に終わる…in 第2回フットサル交流会
 現在、猛(?)練習中!!

NO.
 359

困ったを 良かったにかえる お手伝い
 社会福祉法人こぶしの会 事業所一覧



- 宇都宮市柳田町 1401
こぶしの会法人本部
 028-613-3707 (F) 028-666-6128
 028-666-0418 (居住生活支援事業部)
第2 けやき作業所
 028-680-5937 (F) 028-680-5938
- 宇都宮市茂原町 837-1
こぶし作業所
 028-653-1020 (F) 028-688-1121
障がい者生活支援センターこぶし
 028-680-5748
- 芳賀郡芳賀町祖母井 2244
けやき作業所
 028-687-1040 (F) 028-677-5789
地域活動支援センター「ほっと CHA」
 090-7820-9165
- 真岡市亀山 1043-23
セルブ・みらい
 0285-81-1155 (F) 0285-81-1177
- 真岡市荒町 3-9-5
県東ライフサポートセンター真岡
 0285-83-2567 (F) 0285-85-8055
お菓子工房 ピケ
 0285-81-7091 (F) 0285-81-7092
- 真岡市荒町 111-1
県東圏域障害者就業・生活支援センター
 「チャレンジセンター」
 0285-85-8451 (F) 0285-85-8452
- 真岡市荒町 110-1 市総合福祉保健センター内
芳賀地区障害児者相談支援センター
 0285-80-7765 (F) 0285-80-7765
- 河内郡上三川町大字上三川 5082-15
上三川ふれあいの家ひまわり
 0285-38-6821 (F) 0285-38-6841
上三川町障がい児・者生活相談支援センター
 0285-38-6854
アトリエ・ド・パン シュシュ
 0285-56-7731 (F) 0285-56-7732
- 芳賀郡芳賀町西水沼 438-2
おらがそば茶屋
 028-680-5091 (F) 028-680-5092

～編集後記～

◎…先日警察の方とお話しする機会がありました。内容は、今年に入って私が勤めている事業所の市内にて、死亡事故が多発しているとのことでした。暑さのせいで頭がボーっとしてしまうのか…シートベルトをしていなかったせいなのか…。運転には十分気を付けていかなければいけませんね。(小野)
 ◎…こぶしに入ってパンを作るようになってから、パンの見方が変わったような気がします。元々パンは好きな方だったのですが最近パン屋さんに行くと「このパンこぶしでも作れないかな…」ですとか「お店の内装、こんな感じだとオシャレだな」ですとか今まで気にしなかったことが気になるようになりました。これって職業病ですか?(尾池)
 ◎…今号も何とか原稿を仕上げる事が出来ました。取材を通して他事業所の皆さんにお会いできる機会をいただけていること…とてもありがたいと感じはじめました。次号も宜しくお願い致します。(長谷川)
 ◎…チャレンジセンターでの在職者交流会。心から楽しそうな顔が集まる中に、死にそうな顔をした職員が1名。それが私。前日から体調を崩し、病院経由での出席。ヘロヘロ状態でなんとか取材をこなし、その後めでたく(?)ダウン。みなさんも体調には気をつけましょう。(松本)
 ◎…からだの変化を感じはじめた春先から数か月。夏の暑さとともに露出が増え、からだをひねるたびにたるんだ余分なものを感ずります。グルメの秋ですが、控えめに気をつけたいと思う今日この頃です。(菊地)
 ◎…先日初めて、歌舞伎をみしてきました。うまく言葉では表現できませんが、感動の一言です。会場で解説が聞けるイヤホンマイクがあり、イヤホンマイク?で初めてでも物語を理解することができました。好きな歌舞伎役者さんも生でみることができ、とても充実した1日を過ごすことができました。(篠崎)

一般就労者の現在



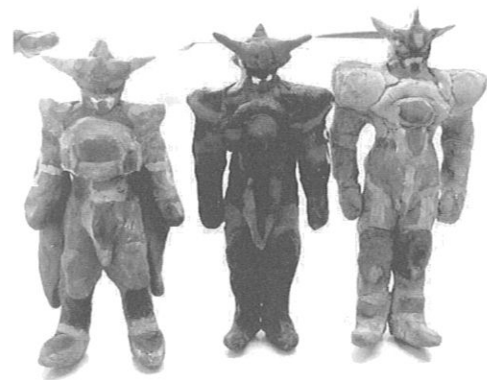
七月二十七日土曜日、真岡市の夏祭りと日と同じくして、チャレンジセンター主催の在職者交流会が盛大に行われました。一般就労した仲間たちが一堂に会し、皆思い思いに楽しい時間を過ごしたようです。その中から選んだ二名を紹介。今回はその前編です！

けやき作業所から、ハイコーパック株式会社(芳賀町)に就職した桜井洋平さんです。明るくハキハキとした受け答えがとても印象的でした。

就職したのは一年くらい前のこと。現在は工場内で完成した製品の袋詰め作業をひたすらこなす日々ですが、今は仕事を大変だとか、難しいと思うことは「ない」という、実に頼もしいお答えが返ってきました。

一般就労を実現した仲間の楽しい集いでした。次回もご期待ください。

取材・編集 松本 祐一
協力・チャレンジセンター



「自分でお金を稼いで、自立した人間になりたい」と話す日下田さんは、就職を目標に現在、メール便配達を中心に活躍しています。真岡市内でもし見かけたら、温かいご声援をぜひ！

取材・編集 松本 祐一

(勝手に)夏祭りシリーズ・前篇

七月二十七日土曜日、真岡市の夏祭りと同じくして、チャレンジセンター主催の在職者交流会が盛大に行われました。一般就労した仲間たちが一堂に会し、皆思い思いに楽しい時間を過ごしたようです。その中から選んだ二名を紹介。今回はその前編です！

心がけているのは、「焦らなくてもいいから、ゆっくり正確に作業を続けること」
……耳が痛いですが(笑)

そんな桜井さん、休日はメイド喫茶やコスプレイベントに行ったりしているそうです。実は何枚か、男としてはうらやましい限りの写真を見せていただきました。ご覧になりたい方は、直接「本人と交渉を(笑)。なおこの件は、編集委員会は一切関知いたしません(笑)。



夢が広がるフィギュアの世界

自分の創造を形にするのが上手な方がいらつしゃいます。県東ライフサポートセンター・真岡の日下田憲彦さんもその一人です。

自分で考えたというオリジナルキャラクターのフィギュア。石膏粘土で作成して、水彩絵の具で色付けしたそうです。

実は、まだまだ本人はこれだけで満足しておらず、ストーリーを作れるくらいの数を完成させて、ジオラマにしたいと意気込んでいます。

キャラクター同士の関係性を考えたり、色のアレンジや形、大きさを整えていくのが大変だそうですが、そう話す表情からは苦勞よりも、あふれる創作意欲がにじみ出ていました。

平成二十四年度 決算報告



平成 24 年度貸借対照表 (総括表) 平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位:千円)

勘定科目		金額	勘定科目		金額
資産の部	流動資産	297,399	負債の部	流動負債	145,563
	基本財産	579,934		固定負債	144,676
	建物	486,325		負債の部合計	290,239
	土地	93,609	純資産の部	基本金	195,755
	その他の固定資産	127,522		国庫補助金等特別積立金	393,436
	固定資産計	707,456		その他の積立金	16,875
			次期繰越活動収支差額	108,550	
			純資産の部合計	714,616	
	資産の部合計	1,004,855	負債の部及び純資産の部合計	1,004,855	

平成 24 年度資金収支計算書 (総括表)

平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日

(単位:千円)

活動区分・科目	決算額	法人本部		就労支援会計		一般会計		公益事業会計	
		1経理区分	5経理区分	13経理区分	4経理区分				
収入	63,093	0	63,093	0	0	0	0	0	
支出	71,494	0	71,494	0	0	0	0	0	
就労支援事業活動資金収支差額	▲ 8,401	0	▲ 8,401	0	0	0	0	0	

収入	収入		支出		支出	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出
自立支援費等収入	521,025	0	402,414	118,611	0	0
補助事業等収入	78,119	3,669	18,000	31,110	25,340	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	1,247	949	298	0	0	0
雑収入	7,654	1,694	4,134	1,825	1	1
借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	20	9	8	2	1	1
会計単位間繰入金収入	27,184	2,205	0	24,547	432	0
経理区分間繰入金収入	81,962	80,500	1,462	0	0	0
福祉事業収入計	717,211	89,026	426,316	176,095	25,774	0
人件費支出	431,972	55,487	240,304	115,109	21,072	0
事務費支出	83,300	14,797	49,439	14,868	4,196	0
事業費支出	72,873	237	37,945	34,668	23	0
借入金利息支出	2,925	1,305	697	923	0	0
会計単位間繰入金支出	27,184	24,979	0	2,205	0	0
経理区分間繰入金支出	83,252	6	83,246	0	0	0
福祉事業支出計	701,506	96,811	411,631	167,773	25,291	0
福祉事業活動資金収支差額	15,705	▲ 7,785	14,685	8,322	483	0

収入	収入		支出		支出	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出
施設整備等補助金収入	5,884	700	4,693	491	0	0
施設整備等寄付金収入	5,054	0	5,054	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計	10,938	700	9,747	491	0	0
固定資産取得支出	10,171	1,278	8,402	491	0	0
元入金支出	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計	10,171	1,278	8,402	491	0	0
施設整備等資金収支差額	767	▲ 578	1,345	0	0	0

収入	収入		支出		支出	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出
投資有価証券売却収入	500	500	0	0	0	0
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0
その他の収入	874	73	633	168	0	0
財務収入計	1,374	573	633	168	0	0
借入金元金償還金支出	20,856	10,008	4,800	6,048	0	0
積立金積立支出	1	1	0	0	0	0
その他の支出	4,279	744	2,324	1,003	208	208
財務支出計	25,136	10,753	7,124	7,051	208	208
財務活動資金収支差額	▲ 23,762	▲ 10,180	▲ 6,491	▲ 6,883	▲ 208	▲ 208
予備費	0	0	0	0	0	0

当期資金収支差額合計	▲ 15,691	▲ 18,543	1,138	1,439	275
前期末支払資金残高	167,130	64,792	97,153	5,099	86
当期末支払資金残高	151,439	46,249	98,291	6,538	361

※詳しい事業報告はHPに掲載させていただきます。

障がいのある方を共に支えてくれている方をご紹介します



宮本さん(写真左)と、寄付を受け取る和田所長

今回登場されるのは、栃木県医薬品配置協議会、中央支部真岡地区担当の宮本太郎(みやもと たろう)さんです。障がいのある方も、社会復帰・独立しこれからの社会をより良くしていくため、少しでも協力したいと六年間にわたり真岡市荒町にあります「こぶしの会県東ライフサポートセンター・真岡」へ援助金をくださっております。

親から子へ受け継がれる意思 小さな力もコツコツと！積もり積もれば山となる。

栃木県医薬品配置協議会中央支部
副支部長 真岡地区担当 宮本 太郎(みやもと たろう)さん

なぜ援助金をはじめたのですか？

「社会貢献事業の一環として毎年栃木県各地の団体・施設へささやかではありますが援助を行っております。」
社会福祉に対する深い理解と共に、栃木県医薬品配置協議会さんの気持ちを力強く仰ってくれました。

寄付をしている団体・施設に期待することは？

「社会復帰・独立するなりなるべく早くこれからの時代を担ってもらえれば…ほんのわずかな力でもまとまれば大きな力になるのです。」

障がいを持っている方が社会に参加できる機会を期待していただき、地域で自立し、また地域に根付くよう期待の気持ちを感じました。

小さな物、小さな事、「小さな」が長い期間のうちにくさん集まることにより、大きくなる…小さなことでもコツコツと。それが大切であり、最も難しいことです。長年の援助本当にありがとうございます。これからもお力添えよろしくお願ひいたします

取材…小野

宮本太郎さん 略歴
昭和四十七年生まれ。介護関係の施設にて約十年間お仕事をなされた経験もあり、昭和三十八年よりこの業界へ関わり始め、今年度長年中央支部副支部長、真岡地区担当をなされていたお父様より代替わりし、現在に至る。



真岡の街中にある小さな作業所です。下請け作業やセルフ・みらいと力を合わせお菓子工房ピケを運営しています。また、毎年多数の就職者を出しています。"就職するならサポートセンター"

置き薬の歴史

医薬品配置協議会の歴史は古く、富山十万石の二代目藩主・前田正甫は、質実剛健を尊び自らも、くすりの調合を行うという名君でした。一六九〇年、正甫公が参勤で江戸城に登城したおり、福島の岩代三春城主・秋田河内守が腹痛を起し、苦しむのを見て、印籠から「反魂丹」を取り出して飲ませたところ、たちまち平癒しました。この光景を目の当たりにした諸国の藩主たちは、その薬効に驚き、各自の領内で「反魂丹」を売り広めてくれるよう正甫公に頼みました。この事件が「おきぐすり」(配置販売業)の発祥とされています。



こぶしづかん
こぶしの会に生息するゆかいな職員のおすすめの本を毎回紹介するよ。

取材：長谷川

1964年にアメリカで出版されて以来、世界中で翻訳され、読み継がれてきた世界的名作絵本「おおきな木」。いつでもそこにあるりんごの木。成長し変わっていく少年。それでも木は惜しみなく愛を与え続けた。木と少年の物語…。

ふかさわ あきこ
深澤 亜希子
就労支援員
上三川ふれあいの家
ひまわり

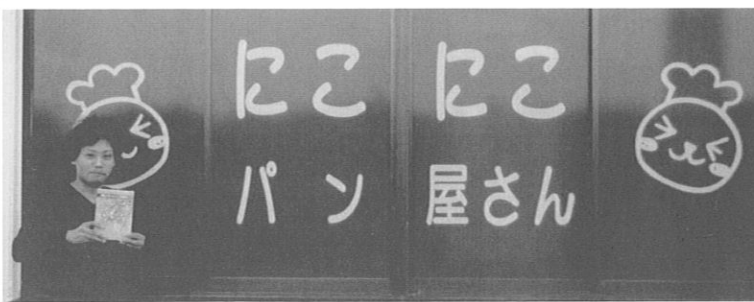


この絵本との最初の出会いは、高校生の時。大人になってから再び出会い「この本まだあったんだ」と書店で購入したそうです。絵本だけでなく、子供向けではなく“大人向け”の本。休日には、娘さんと書店へ行ったたり、一緒に本を読んだりして過ごすことも多いそうです。中でも、エッセイやノンフィクションが好きで、お子さんにはこの本のように、何かを感じ・考えることができる本をたくさん読んでもらいたいと思っているんだそうです。育児休業から今年の4月に復帰され、今年度からスタートした就労移行支援事業を担当されています。



おおきな木

●作/絵 シェル・シルヴァスタイン ●訳 村上春樹
●出版社 あすなる書房 ●定価 1,200円(税別)



「読書なんてしないからおすすめできる本なんてないです。」が取材を申し込んだ際の第一声。休日返上で本を読み返し、「アルジャーノンに花束を」を紹介してくれました。趣味や特技についても、「人に言えるような事はありません。」... とのことで、本をたっぷり紹介していただきました。

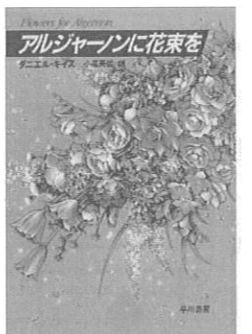
知的障がいのある青年チャーリーが脳手術を受け IQ185 の天才になる。先に手術を受けたハツカネズミの様子から手術の欠陥を見つけ自分が元の知能に戻ってしまう事に気付く。手術を受け、天才から元の知的障がい者に戻る過程がチャーリーの視点で描かれたSF小説。「ストーリーの描写のリアルさにみると主人公チャーリーに自身を投影してしまいます。」ととにかく感受性を揺さぶる良書です。是非読んでみて下さい。」とのことです。支援員という職業に就いている今、日ごろの仕事のあり方をふと気付かされる内容になっているそうです。

支援員
けやき作業所

よしみず ようへい
由水 洋平

アルジャーノンに花束を

●著 ダニエル・キイス ●翻訳 小尾 美佐 ●出版社 早川書房 ●1,500円



☆全職員研修会報告☆

参加職員の九割が満足して喜んだ！

四月下旬、水と緑で一面きれいな田んぼができるころ、今年も八十八人の参加のもと全職員研修会が行われました。

今回のテーマは「メンタルヘルス」。講師を臨床心理士の村里忠之先生にお願いしました。



新年度のスタートを上手くきるために

四月は年度スタートの月。職員が一致団結して前に進みたい月です。また、新人職員はひと通り仕事を体験し、五月病を前にいろいろと大変な時期になっているところ。社会では、うつ病や統合失調症をはじめたくさんの方が精神疾患で苦しんでいる話を聞く中、今年は健康で働き続けるためのセルフヘルプを題材に働く力を養う企画をしました。

セルフヘルプが必要になってきている

うつ病は十〜十五人に一人が生涯にかかるものと言われ、決して珍しくない病気です。その他、統合失調症や不安障害なども含めると心の病気が当たり前に有るものともいえます。人と人として作る福祉の現場は一人倍心のケアが必要な職場でもあります。

非日常で仕事に当たる

今回は講師を臨床心理士である村里忠之氏に依頼し、約三時間の講義を行いました。テーマはずばり「メンタルヘルス」。ポイントとなったのは、「福祉の現場は日常が入りやすい感覚がある」ので、「非日常で仕事に当たること」でした。日常の自分では解決しえない問題にも応えてゆくのが「仕事」で、そ

参加者からのコメント

研修後のアンケートには

- ・ 内容が理解でき有益であったと九十一%の方が回答しました。とても興味のある分野だったようです。ここに一部ですが参加者のコメントを掲載致します。
- ・ 人を相手にする仕事から、サービスする側の健全性が大切。
- ・ 困りごとに一人で解決できることでも他の人に話すことが合理的で、負担が少ない。
- ・ 気持ちを共有することの喜びを感じた。
- ・ メンタルヘルスをシリーズや定期的に開催してほしい。
- ・ 自分の困り感の自覚や分析等が、仲間の支援の仕方にも当てはまる気がした

結びに教育研修委員会より

必要な教育とはタイムリーで効果的なものでなくてはなりません。教育研修委員会の今年度の担当は全職員研修・実践交流会・コミュニケーション研修・新任職員研修です。現場が必要としていることを企画し、いきいきと働ける環境づくりの一翼が担えることを目指しています。次回七月十三日は実践交流会。実りの多い研修会にするため、教育研修委員会、頭を寄せ合って奮闘しています！

(こぶしの会・教育研修委員会)

社会モデルを地域文化に 第八回

はたらき、くらす事がままならない

労働者の約四割にのぼる非正規雇用者の三分の二が年収二百万円以下という現実

いったい日本という国は何を目指そうとしているのだろうか。株価が上がリ、大企業がのきなみ政権交代のご祝儀「賃上げ」が報道される中で、非正規雇用労働者が二千万人を突破したというニュースが飛び込んできた。非正規雇用労働者とは、アルバイト、パート、派遣労働者をいい、三分の二が年収二〇〇万円以下という貧困ラインに達しないワーキングプアといわれる労働者である。賃労働者は約五千万人。前回でもふれたが、こうした状況は九〇年代後半〜二〇〇〇年、グローバル経済の進行、経済団体が日本の経営の終焉宣言、安倍内閣(前政権)時代の労働ビックバンのによる労働力流動化政策に端を発し、大リストラと失業時代に突入、日本の雇用状況は崩壊していく。くしくも第二次安倍政権において雇用問題が新たな段階に突入した観がある。

さらに、失業率は若干減じているものの、ニートなど労働能力のある被雇用労働者を含む無業者は増加、高齢化している。加えて、進行する低水準の社会保障制度の中で、労働意欲、生活意欲を失いつつパラサイト化、精神的にも追い詰められていくひとびとの姿が想像される。

大手を振るブラック企業

非正規雇用労働者の問題は、一方で正規労働者(特に中間監視職)の長超過勤務状況も生み出す。厚労省の「過労死ライン」は月八十時間の残業。新入職員が四ヶ月後過労死した「庄や」の事件や、同じく二カ月後に過労死した「和民」、ウエザーニュース(大手気象予報会社)も六カ月後に自死するなど、過労死による事件が頻発。その中の「庄や」裁判では、百時間の残業は他社よりも短いと主張、殺意も感じる残業時間の合理化をしたという。こうしたブラック企業は論外にせよ、アルバイト、パート、派遣労働者という非正規雇用労働者の比率が高まる中で、正規労働者にかかる負担は尋常ではない。

望まれる効率性 失われる日本的キャリア形成

(厚労省の言う)福祉「産業」に振返ってみると、サービスマン管理責任者の常勤(短期雇用でも可)配置を必須とする他は、常勤換算(基準労働を一人週四十時間と換算し、一人分を複数の職員でカバー)をしていれば利用者の利用実績に応じた配置が可能)で由とする障害者福祉制度は、まさに二〇〇〇年以降特徴的な効率主義雇用の典型である。雇用制度は、社会保障制度の中核の制度ではないかと思う。高度成長期の日本的雇用制度は弱点もあるが、労働者が真に仕事のキャリアアップを展望しながら、

労働者性皆無の奴隷労働から脱却するために、知恵と力を束ねて

この間、生活保護受給者や、就職戦線から外れてしまっている若者(四月十日：文部科学省・厚労省調査二〇一二年)を対象に、中間労働なるものの制度化がすすんでいる。障害者分野では恒常的になってしまっている福祉的就労などという「労働者性(最賃法や労働基準法の適用をうける被雇用者)が皆無の奴隷労働」(ヤマト財団小倉昌男氏談)ともいえる状況を、さらに拡大しようとするかのようだ。

私たちの障害者福祉の現場では、まさにこうした三層(正規、非正規、福祉的就労)構造の中での雇用問題が現出している。これを乗り越えていけるのは知恵と力の源泉である連帯だと思ふ。古臭い言葉であるが、現代的に足元から再生する勇気が求められているのではないだろうか。

文：高橋温美(こぶしの会常務理事)